

第 80 回日本公衆衛生学会学術総会
自由集会 ～知ろう・語ろう・取り組もう～
一歩先行く 健やか親子 2 1（第 2 次）第 7 回開催報告

研究協力者 秋山 有佳（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
堀内 清華（山梨大学大学院総合研究部医学域附属出生コホート研究センター）
研究分担者 上原 里程（国立保健医療科学院政策技術評価研究部）
研究代表者 山縣 然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

本研究班では、毎年秋に開催される日本公衆衛生学会学術総会の際に、「健やか親子 2 1」に関する自由集会を平成 13 年より毎年開催してきた。平成 27 年度 4 月より新たに「健やか親子 2 1（第 2 次）」が開始されたことに伴い、自由集会でも新たに「～知ろう・語ろう・取り組もう～一歩先行く 健やか親子 2 1（第 2 次）」と題し、第 2 次の取り組みについて知り、語り合う機会とすべく当集会を企画し、今回はその 7 回目であった。

今回のテーマは、「成育基本法でどうなる健やか親子 2 1」とし、今年度に研究班から国に提出された指標案について紹介し議論することを目的とした。今回は、現地開催のみとしたため参加者は 15 名と少なかった。参加者は研究班から出された指標案の説明について熱心に耳を傾け、その後のディスカッションでは成育基本法をめぐる指標設定や今後の実施に関する話題を中心に質疑応答や情報共有を行った。公衆衛生の最前線で働く者にとって、政策に関わる情報については直接話を聞く機会は限られていると考えられ、大変有意義な会となったと思われる。

A. 目的

本研究班では、毎年秋に開催される日本公衆衛生学会学術総会の自由集会に、「健やか親子 2 1」が開始された平成 13 年より「知ろう・語ろう・考えよう！ “一歩先行く” 健やか親子 2 1」と題する集会をシリーズ化し毎年開催してきた。平成 27 年度からは「健やか親子 2 1（第 2 次）」が開始されたことに伴い、自由集会でも引き続き「健やか親子 2 1」に関する情報の共有および意見交換ができる場を設けることとし、新たに「～知ろう・語ろう・取り組もう～一歩先行く 健やか親子 2 1（第 2 次）」と題した集会を開催した。

今年度は、その第 7 回であり、「成育基本法でどうなる健やか親子 2 1」と題し、今年度に研究班から国に提出された指標案について紹

介し議論することを目的とした。

B. 方法

令和 3 年 12 月 21 日（火）～12 月 23 日（木）に東京都で行われた第 80 回日本公衆衛生学会学術総会の 1 日目に申し込みをした。開催日時および場所、予定した内容は以下の通りである。

【日時】

令和 3 年 12 月 21 日（火）17：30～18：30

【場所】

新宿 NS ビル 3F NS 会議室 南ブロック 3-G

【内容】

座長：山縣 然太朗（山梨大学）

《第 1 部》

- ・「健やか親子 2 1（第 2 次）と成育基本法」（山縣）

《第2部》

・ディスカッション（進行役：山縣）

C. 結果

1. 参加者

当日の自由集会の参加者は15名（大学関係、行政、企業）であった。

2. 発表内容

日時、場所および内容はいずれも予定通りに実施された。当日の実施内容の詳細を以下に示す。

《第1部》

・「健やか親子21（第2次）」と成育基本法（山縣）

成育基本法が2018年12月14日に公布され、2019年12月1日に施行されたのを受け、成育基本法が目指すもの、また成育基本法と「健やか親子21（第2次）」との関係について解説した。また、本年度は本研究班から国に指標案を提出しており、その指標案について紹介と説明を行った。

《第2部》

第1部の講義を受けて、指標案についての質疑応答を行った。

D. 考察

今回の自由集会は、「健やか親子21（第2次）」開始後、7回目の自由集会であった。第1部では、新たに施行された成育基本法と「健やか親子21（第2次）」との関係、および本研究班から国に提出した指標案について説明を行った。

第2部では、第1部の内容を踏まえ、指標案について情報共有をし、質疑応答を行った。今

回は、これまでとの異なり、現場での取組共有よりも、成育基本法をめぐる指標設定や今後の実施に関する話題が中心であった。公衆衛生の最前線で働く者にとって、政策に関わる情報については直接話を聞く機会は限られていると考えられ、その点で、大変有意義な会となったと思われる。

今回は現地開催のみでオンライン開催を行わなかったため参加者が例年に比べると少なかったことは残念であるが、様々な質疑応答が交わされたことは貴重であった。

E. 結論

本年度の自由集会は、第1部は成育基本法と「健やか親子21（第2次）」との関係、および指標案についての講演、第2部は指標案についてのディスカッション、と2部構成で実施した。第2部のディスカッションでは、指標案についての情報共有と質疑応答が行われた。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし